



多彩な風土で魅力を育む

長野県 上田地域振興局プレスリリース 令和7年(2025年)12月24日

## 令和7年 上田地域 県政おもなできごと

この1年を振り返り、「上田地域の県政おもなできごと」20項目を選定しました。

月	内 容	
2月	<p>「あつまれ！にぎやかな森づくりフォーラム2025」を開催 (地域振興局 林務課)</p> <p>産学官の連携によって上田地域の持続可能な森林づくりを促進するため、2月10日に上田市のサントミューゼでフォーラムを開催しました。</p> <p>上田地域の森づくりにご協力いただいております「にぎやかな森プロジェクト」提携企業、林業関係団体や一般応募など約100人の参加者が、最新のカラマツ材利用についての講演や林業・木材産業で働く若手の方々を交えたパネルディスカッションを聞き、知見を深めました。</p>	 
3月	<p>防災重点農業用ため池「塩野池」の防災工事が完了 (地域振興局 農地整備課)</p> <p>県営農村地域防災減災事業により進めてきた上田市前山の農業用ため池「塩野池」の耐震・豪雨対策工事が完了しました。</p> <p>本ため池が位置する塩田平は降水量が少なく、大きな河川もないことから、古くから「ため池かんがい」が発達してきました。</p> <p>塩田平のため池群では、現在41箇所のため池が利活用されており、その多くは江戸時代に築造されています。</p> <p>防災工事により地震や豪雨に対する安全性を高め、地域に欠かせない農業施設として次代に引き継がれます。</p>	 

	<p style="text-align: center;"><b>上田市三好町・御所・中之条地区をむすぶ 都市計画道路の街路工事が完成</b> (建設事務所)</p> <p>3月 上田市街地から青木村へ通じるこの区間は、幅員が狭く、通行車両と歩行者・自転車に接触の危険などがありました。この工事の完成によって、安全で快適な通行・歩行空間と防災機能が確保されることとなりました。また、電線・電柱も地中化されたことに伴い、美しく良好な都市景観を創出しています。</p>	 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>整備前</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>完成</p> </div> </div>
5月	<p style="text-align: center;"><b>UE森 2025 ～上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い～</b> 上田市菅平高原で開催 (地域振興局 林務課)</p> <p>上田地域の森林が主伐・再造林の時期を迎える中、参加者が本格的な植樹作業に取組む「UE森 2025～上田地域にぎやかな森づくり植樹の集い～」を、5月10日に上田市菅平高原で開催しました。上田地域の森づくりご協力いただきしております「にぎやかな森プロジェクト」提携企業に加え、長野大学の学生や一般応募の参加者など約200人がカラマツの苗木2,000本を植樹し、将来の森林の姿に思いをはせながら爽やかな汗を流しました。</p>	 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>
5月	<p style="text-align: center;"><b>新規就農者激励会を開催</b> (農業農村支援センター)</p> <p>上田地域において、新たに農業を始めた方々を応援する「新規就農者激励会」を開催しました。当日は、新規就農者の皆さんから、現在の取組状況や今後の目標について発表いただき、先輩農業者からは経験に基づく助言と激励の言葉が送られました。地域農業の持続的発展に向け、担い手の育成は重要な課題です。当センターでは、今後も新規就農者の経営の安定と発展を支援し、地域農業を力強く支えてまいります。</p>	

6月	<p style="text-align: center;"><b>長野県消防ポンプ操法大会上小地区大会 上小消防ラッパ吹奏大会の開催 (地域振興局 総務管理課)</b></p> <p>「長野県消防ポンプ操法上小地区大会・上小消防ラッパ吹奏大会」を、東御市中央公園グラウンド、東御市中央公園第一体育館において開催しました。</p> <p>ポンプ操法第1部（ポンプ車）7チーム、第2部（小型ポンプ）15チーム、ラッパ吹奏団体の部8チーム、個人の部18チームに参加いただきました。</p> <p>今後も消防団員の日頃の訓練成果を発表する機会を確保するとともに、消防ポンプ操法技術及びラッパ吹奏技術の向上発展と士気の高揚を図ってまいります。</p>	
7月	<p style="text-align: center;"><b>菅平ダムに新たな小水力発電施設が完成 (地域振興局 農地整備課)</b></p> <p>上田市の菅平ダムに新たな小水力発電施設が完成し、初回転式が行われました。</p> <p>菅平ダムの水は農業用水に加え、上水道や発電に利用されています。現在、施設の老朽化に伴い、県営かんがい排水事業により更新整備を実施しており、併せてダムの堤体直下に、取水時の高低差を利用した小水力発電施設を新たに整備しました。</p> <p>本格稼働は令和8年4月を予定しており、一般家庭140世帯分の消費電力に相当する、年間527MWhを発電します。</p>	 
7月	<p style="text-align: center;"><b>小中学生向けに租税教育 (東信県税事務所 上田事務所)</b></p> <p>上小・更埴租税教育推進協議会が主催する租税教育の一環として、7月18日（金）に菅平小・中学校の児童・生徒を対象に租税教室を開催しました。</p> <p>次代を担う児童・生徒の皆さんに、民主主義の根幹である租税の意義や役割を正しく理解していただくことが目的です。</p> <p>社会の構成員として税金を納め、その使い道に関心を持ち、自分ごととして考える機会となりました。</p> <p>税を身近に感じていただける取組を今後も続けます。</p>	 

8月	<p><b>上田市立第六中学校で「職場体験学習・防災学習」を実施 (建設事務所)</b></p> <p>上田市の第六中学校で、「職場体験学習・防災学習」を開催しました。</p> <p>令和元年東日本台風の復旧工事に関わった地元建設業者の「体験談」などを通じ、業界の状況を知っていただきました。</p> <p>また、流域治水や耐震化の模型を使用して、防災対策や災害発生のメカニズムなどについて実演、説明しました。</p> <p>生徒自身の防災対策に、また、地域の防災活動の担い手につながることを期待します。</p>	
9月	<p><b>にぎやかな森プロジェクト、新たに企業1社と協定締結 (地域振興局 林務課)</b></p> <p>上小森林認証協議会が経済・環境・社会の3つの側面から森林・林業の課題に対する調査研究活動や森林整備等に取り組むプロジェクトにおいて、新たに企業1社と協定を締結し、支援企業は11社となりました。</p> <p>企業との連携により、国際的な認証である SGEC 認証森林をフィールドに、調査研究や森林整備活動を行い、脱炭素社会の実現や生物多様性の保全等に寄与する持続的な森林経営を目指します。</p>	
10月	<p><b>「ゼロカーボンミーティング in UEDA」の開催 (地域振興局 環境課)</b></p> <p>持続可能な脱炭素社会の実現を目指す「長野県ゼロカーボン戦略（計画期間：令和3年度～令和12年度）」の中間見直しに、若い世代の柔軟な発想や意見を反映させるため、上田地域の大学、短期大学、大学校の学生を対象に意見交換会を開催しました。</p> <p>環境問題を「可視化」する必要性などについての議論が交わされ、映画製作による認知度の向上、学校での温暖化教育の義務化、経済損出額の「見える化」など、若者ならではの柔軟な提案が出されました。</p>	

10月	<p><b>産業ミライフェスやげんきまるこ産業フェスタにおいて 上田地域の伝統的工芸品を広くPR (地域振興局 商工観光課)</b></p> <p>職人の技術を間近で体感できる展示や実演を通じて、来場者が本物の技術に触れ、ものづくりの奥深さを体感できる機会を提供しました。</p> <p>上田地域の伝統的工芸品である上田紬、農民美術、手作り打ち上げ花火を、古いものとしてではなく、現代の暮らしに息づく新しい価値として魅力を感じていただきました。</p> <p>伝統と革新が融合する上田地域のものづくり文化に、小・中学生や高校生をはじめ、幅広い世代の来場者が関心を寄せる機会となりました。</p>	
10月	<p><b>上田市立第四中学校で「大工体験授業」を実施 (建設事務所)</b></p> <p>上田市の第四中学校で、木造建築物の担い手である大工技能者の確保、育成を目的に、「大工体験授業」を開催しました。</p> <p>地域を支える建築産業の将来の担い手を持続的に確保するため、「興味」「憧れ」を抱いていただく取組を進めています。</p>	
12月	<p><b>「地域発 元気づくり支援金」活用事業の優良事例を表彰 (地域振興課 企画振興課)</b></p> <p>令和6年度に「地域発 元気づくり支援金」を活用して実施した事業のうち、モデル性や他地域への波及効果などが特に優れている2事業を選定し、優良事例の表彰式を開催しました。</p> <p>知事賞には、地球クラブの「ふくろうの里『共に創る学びの場』創造事業」を選定しました。</p> <p>優良事例の紹介を通じて、地域づくりに取り組む機運を醸成し、地域の元気づくりを促進してまいります。</p>	

12月	<p><b>高梨農業集落道が完成、供用開始 (地域振興局 農地整備課)</b></p> <p>上田市西内の高梨集落で整備が進められていた、高梨農業集落道が完成し、供用開始しました。</p> <p>本集落道は、上田市丸子・武石地域で実施している県営中山間総合整備事業「美の郷地区」の一環で整備されたもので、3日（木）には完成引渡式が開催され、多くの地域の方々にご列席頂きました。</p> <p>安心して暮らせる生活環境を確保する集落内の主要な道路として利用され、農村集落機能の維持と持続的な発展を支えるほか、集落下部を走る国道254号線が不通となった際の重要なバイパス道路としても活用が期待されます。</p>	 
12月	<p><b>国道144号上野バイパスの歩道を供用開始 (建設事務所)</b></p> <p>上田市から真田・菅平方面へ通じる国道144号の上野バイパス歩道部を一部供用開始しました。</p> <p>現道は、車道及び歩道幅員が狭いにもかかわらず、近隣の小中学生の通学路にもなっていましたが、バイパスの歩道を供用開始したことでの課題が解消されました。</p> <p>なお、車道部を含めたバイパスの全面開通は、令和9年3月を予定しています。</p> <p>一日も早い完成に努めてまいります。</p>	
通年	<p><b>フードドライブの開催 (地域振興局 総務管理課)</b></p> <p>物価高騰の影響等でお困りのご家庭を応援するため、フードドライブを開催しました（6～7月、10月、11～12月）。</p> <p>多くの県民の方々、各種団体、庁舎内の職員などからたくさんのお品を寄せ付いただきました。</p> <p>いただきましたこのお品は、上田地域の信州こどもカフェ（こども食堂）で活用され、子どもたちの笑顔につながりました。</p>	

通年	<p style="text-align: center;"><b>上田地域の観光振興に向けた各種取組を実施 (地域振興局 商工観光課)</b></p> <p>上田地域の観光資源の魅力を県内外に発信し、地域一体となって観光振興に取り組むことを目的に、上小地域観光戦略会議のもとに設置した「食材活用分科会」において、上田地域の食の生産者と実需者を繋ぐツアーを実施（9月）、また、長野大学で開講された「食文化産業とまちづくり講座」に参加しました（6月～12月：計10回）。</p> <p>さらに、上田地域広域連合と連携し、JR金沢駅・大宮駅、東部湯の丸SAにおいて観光チラシ配布や特産品の販売等を実施しました（6月、11月）。</p> <p>東急株式会社の社員向けイベントでは、上田地域のお酒や伝統工芸品を紹介しました（6月）。</p>	
通年	<p style="text-align: center;"><b>しなの鉄道(株) × 発酵食等PRイベントを実施 (地域振興局 商工観光課)</b></p> <p>観光列車「ろくもん」発酵バレーNAGANO特別号の運行に合わせ、乗客の方々へ、上田地域の甘酒、ワイン、日本酒のおふるまい、上田紬を用いた缶バッジの配布を行いました、上田地域の食文化や伝統的工芸品の魅力をPRしました（7月～9月）。</p> <p>また、しなの鉄道(株)と連携し、上田地域のすべての醸造場のワイン、日本酒、クラフトビール30種をご用意し、チーズ、味噌、生ハム等の発酵食とのペアリングをお楽しみいただく列車旅を企画、実施することで、上田地域の発酵食の魅力を県内外の方々にPRしました（12月）。</p>	
通年	<p style="text-align: center;"><b>次世代を担う技術者（建設系学科高校生）の就労促進のため、各種研修会を実施 (建設事務所)</b></p> <p>建設産業の次世代を担う技術者の確保・育成を図るため、各種関係団体及び施工業者の協力を得て、管内の建設系学科高校生（上田千曲高等学校、丸子修学館高等学校）に向けた各種研修会を実施しました。</p> <p>少子化に伴う人口減少の影響により、建設業界では高齢化、人手不足が顕著です。</p> <p>若者向けの研修会などを通じ、未来の建設業界を支える有能な人材の育成を図ってまいります。</p>	



みんなでつくろう!こども・子育てに優しい信州

(問合せ先)

担当 上田地域振興局総務管理課 齋藤 若林  
電話 直通 0268-25-7111  
代表 0268-23-1260 内線 2212  
ファクシミリ 代表 0268-25-7115  
電子メール [uedachi-somu@pref.nagano.lg.jp](mailto:uedachi-somu@pref.nagano.lg.jp)